

フィジーで交流 環境活動を報告

阿久津、北高根沢中生

【高根沢】町教委が8月にフィジー共和国に派遣した阿久津中と北高根沢中の2年生20人の報告会がこのほど、町農村環境改善センターで開かれた。写真。

20人は8月20、25日、同国で、現地の学生や村の人たちと交流したり、環境保護活動に参加したりした。

町、町議会関係者、保護者などが集まった報告会では、一人一人、感想などを述べた。阿久津中の阿久津安奏さんは「フィジーで学んだ笑顔とあいさつの大切さ、自然と共存する意識を実践し広めたい」、北高根沢中の小西夏さんは「英語で会話するのに大切なのは、話したい、相手に思いを伝えたいという気持ちだと感じた」と話した。



下野 429/2.19(11)25前